



子供たちの冬休み

令和7年度がスタートしてあっという間に年の瀬です。子供たちは、12月26日から1月7日まで、13日間の冬休みに入ります。御家庭では新しい年を迎える時期となり、大掃除をはじめ、年末の諸行事、そして正月と、1年のうちでも特別な行事が続くと思います。それは、子供にとって社会勉強をする大切な機会でもあります。年末年始の挨拶を交わして感謝の気持ちを表すことなどの貴重な経験は、大人になるための準備であるとも言えます。

そして、お子様の生活につきましては、十分に御留意いただき、有意義な冬休みが送れますよう、御指導をよろしくお願いいたします。あわせて、飛び出し等の交通事故防止、また、ゲーム機などからインターネット回線を通じて活動する際は、可能な限り御家族の目の届くところで、ルールを守って取り組むよう御指導願います。ゲーム回線を通じて、見知らぬメンバーと文字や音声でつながり、安易に個人情報を教えてしまった、顔写真を送ってしまったなどの事案が増加しています。だからと言って「使用させない」という考え方ではなく、「上手に使うこと」、「情報社会に参画していくこと」が求められています。バランスが大切であると思います。

たくさんお願いをしてしまい恐縮ですが、これらのお手本となるのは、当たり前なのですが「大人の姿や言葉」です。子供は大人の言動を真似て学びます。大人が日頃から率先してよい行動や態度を示すことで、挨拶、感謝、努力する姿、感情のコントロールなど、子供は大人の鏡として成長します。とは言え、完璧は難しいものだと思います。できる範囲で「率先垂範」し、忙しい中でも頑張っている姿を見せることは、子供の「やり抜く力」や「善悪の判断基準」を育む鍵になると思います。

保護者の皆様及び地域の皆様には、本年も、本校教育活動に対しまして、たくさんのお力添えをいただきありがとうございました。皆様からいただきました御厚情に感謝するとともに、新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

お手伝いでありがたいの種をまく～自己有用感の高揚へ～

各御家庭では日常のことと思いますが、夏休みや学期間休業に引き続き、冬休み期間中もお子様を家の手伝いに誘ってくださるようお願いいたします。日頃のかかわりをベースに、とりわけ低学年では自分の服をたたむ、遊んだものを片付ける・掃除するなど、自立的な行動と結びつけるのもよいと思います。まだ定着していないようでしたら「片付けておいてね。」ではなく、「一緒に片付けようか。」と、親子で取り組んでみるのもよいと思います。

私も含めて、おそらく多くの皆様は「年末で忙しいのに、手伝いなんて二度手間になってしまう。」という印象をおもちになるかもしれません。しかし、お手伝いを通じて、子供が一人前として認められ、信頼され、「今日も助かったよ。いつもありがとうね。」と感謝の言葉をもらうことは、自己有用感を高め、自分に対する誇りをもつことに繋がると思います。お手伝いも重要な家庭教育です。大人から信頼されて、子供は育つのだと思います。

また、親の思いを是非言葉で伝えていただきたいと思います。家族からの愛情が子供の心を豊かにし、自信を高め、そして、たくましく生きる力のもとになります。愛情のコップをたっぷりにしていただければと思います。

❖ 子供の心に響く言葉の例を参考までに御案内いたします。

共感の言葉・・・「そうなんだね」「大変だったね」「そう感じたんだね」「そう思えるのっていいよね」など

認める言葉・・・「〇〇をよく頑張ったね」「頑張れたことが素晴らしいよ」「おお、そうきたか」「さすがだね」など

あいさつ・・・「おはよう」「お帰りなさい」「おやすみなさい」「いただきます」「あけましておめでとうございます」など

感謝の言葉・・・「〇〇してくれてありがとう」「とても助かったよ」「すごーうれしいよ」「いつも感謝しているよ」など

よいところに気付かせる言葉・・・「〇〇が上手だね」「〇〇ができるようになったね」「いつも気配りをしてくれている

んだよね」「それ、とっても温かい言葉だね」「これはファインプレーだね」など

《文字が多くなってしまい申し訳ありません……。》

お弁当の日ではお世話になりました

12月18日(木),お弁当の日を実施しました。これは、宇都宮市独自の取組で、食事について親子で共に考える機会として、また、子供たちの食への関心を高め、感謝の心を育むことなどを目的として、平成20年度から市内の全小・中学校で実施しています。実施にあたっては、学年に応じた宇都宮市のねらいにもとづき、全校に配置されている学校栄養士を中心に家庭と連携し、小中学校の9年間をとおして、自分の健康に関心をもち、考え、判断し実践できる子供の育成をねらいとしています。子供たちの感想です。1.2年生「いつもより早起きして卵焼きを一緒に作りました。」「お弁当箱に詰めるのがけっこう大変でした。」、3.4年生「一緒に食材を買いに行きました。」「お米研ぎも自分でやってみました。」、5.6年生「もちろん全部自分で作りました。」「早起きして、好物の唐揚げを作りました。」「彩とバランスを工夫しました。」などの話を聞くことができました。とりわけ高学年生になると、自分らしさを表現しているお弁当が多く見受けられました。とてもよいことだと思います。御家族の皆様は「火傷しないかしら……」「手を切らないかしら……」「このペースで間に合うかしら……」と、さぞ心配しながら見守ってくださったことと思います。見守り、じっと待つあげることも大切です。お陰様で、子供たちは「美味しい」「楽しい」「満足した」時間を過ごしていました。

今回も、各御家庭で協力くださり感謝いたします。いつも、ありがとうございます。



学校評価アンケートについて

令和7年度の学校評価アンケートにつきまして、保護者及び地域の皆様には御回答いただきありがとうございました。この後、教職員がアンケート結果をもとに自己評価し、地域協議会において「学校関係者評価」を実施します。その後、学校評価書としてまとめ、地域協議会にお示しした後、令和8年3月に公表予定です。いただきました御意見等については、改善できるものは対応し、検討が必要な内容は協議を続けていきたいと思います。